

昭和二十二年六月四日
連 給 録

情報

引揚船各港運給事項 六月三日

各受入港受入並送還人数報 (第二十四號) 昭和二十二年六月一日訂
海軍運輸中央事務局交通部海運課

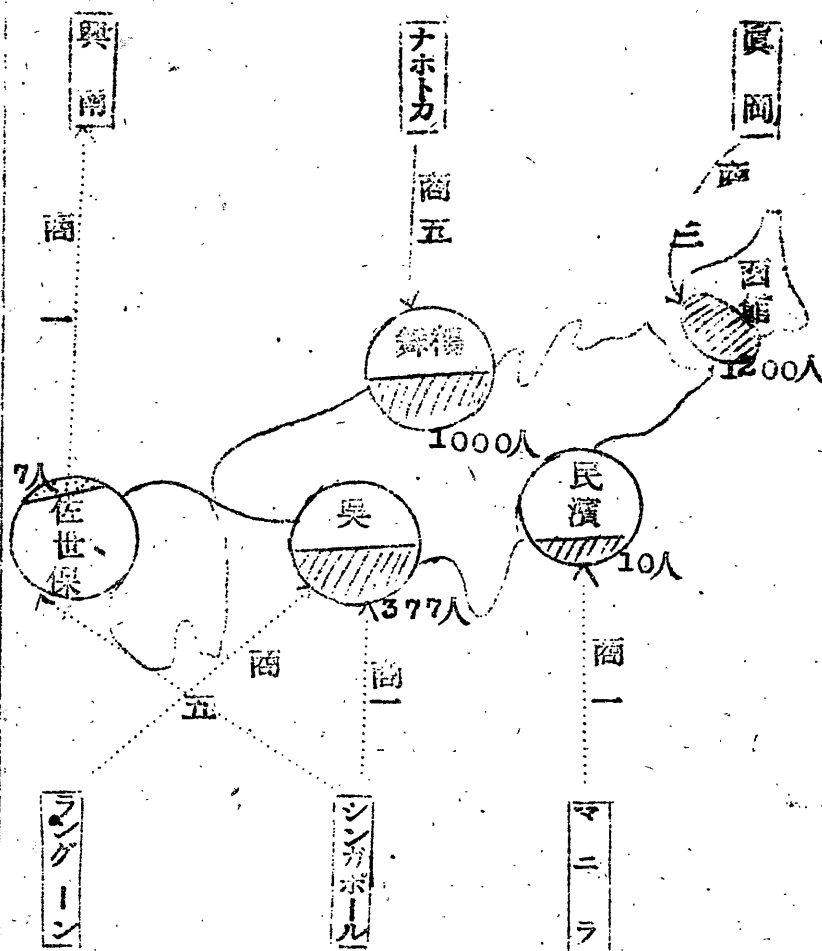
第二十三號以降編著事項
(1) 南方方面作業隊中和蘭地區に付ては既報の通り五月十五日佐世保入港の船隻が終了した。英軍地區に付ては現在引揚船中五月中に日本船三隻が内地を出帆したが此程度では引揚完了に相当長期を要するのでその促進方についてはその後も再三總司令部に折衝中である。尙既報の外五月十八日吳入港の英船「デルワラ」で二〇〇〇人の引揚が完了した。
(2) ソ連地區よりの邦人引揚は六月も五月と同様奥阿より三万人ナホトカより二万人計五万人の引揚が行われることになった。尙六月下旬北朝鮮人送還の爲奥南向に一隻配船されることになったので北朝鮮よりの引揚が期待される。

地区別	四月末現在	現船隻	要完了	引揚完了推定時期
樺太地區	二四三六八	三六〇〇	六七	昭和二十二年十月
シベリヤ地(滿洲)	六七一九五〇	三〇〇〇	三六	全 二十二年三月
南方(英軍)	七三一九五	一三八〇〇	五五	全 二十二年十月
千島、カムチャツカ	五〇八六七	〇	〇	未定但開始すれば五月で終了

港別	受入並送還人数報		船隻	船隻	船隻	船隻	船隻	船隻	船隻
	六月前半	六月後半及びその以降							
シンガポ	南方及び北	南方及び北	一	一	一	一	一	一	一
一入港	南方及び北	南方及び北	一	一	一	一	一	一	一
民入一月	南方及び北	南方及び北	一	一	一	一	一	一	一
一六六人	南方及び北	南方及び北	一	一	一	一	一	一	一
佐世保	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一
朝鮮人、	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一
沖繩人及	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一
臺灣省民	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一
の送還め	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一
の見込	北朝鮮人、南	北朝鮮人、南	一	一	一	一	一	一	一

籍	商館	長濱	舞鶴	吳
受入一日 二六四六 送還員數 未定	眞岡より 三日目毎 に二隻方 至三隻宛 入港 受入一日 二二〇〇 人 原則は月 三万人に 付實際の 受入人数 は若干下 廻る見込	眞岡より 三日目毎 に二隻方 至三隻宛 入港 受入一日 二二〇〇 人 原則は月 三万人に 付實際の 受入人数 は若干下 廻る見込	ナホトカ より三日 目毎に一 隻宛入港 受入一日 二〇〇〇 人 前期同様 受入一日 二〇〇〇人 原則は月二 万人に付實 際の受入人 数は若干下 廻る見込	ランゲル ン及シンガ ガポール より一隻 宛入港受 入一日二 八〇人 前期同様 受入一日 四七三人 シンガポ ール ランゲル ン 商一 五 一 五 一 一〇 一〇 三 三 海王
計	眞岡 商一三二、五	マニラ 商一	ナホトカ 商五	計 六
商二七	三、二二六、〇〇〇	一	二、一〇三、〇〇〇	六、二、三〇〇
五一八〇三二〇	二、六〇〇、〇〇〇	一〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、七、三七七
二六七七		(主として 被犯關係者)		

六月配船並受人圖



凡 例

- 日500人以上受入又は送還
- 日500人未満受入又は送還
- 受入實數
- 受入能力
- 送還實數
- 商 日本商船數字は隻數を示す